

第二十一日目

師 範：文永の役に失敗した元軍は再び日本を攻めようとしてました。

1281年のことです。



今度は朝鮮の高麗軍を従えた約4万人のルートと、宋の国をほろぼして、その宋の兵と長江の流域から連れてくる約10万人のルートの二つから集合して攻めてくる予定でした。1274年の4倍半という規模です。

しかし二つのルートがなかなか集合できず、もたもたしているうちに、暴風雨にまきこまれて、大損害を出したのです。

日本は外国の直接侵略を初めて受けたのですが、占領されずにすみしました。

1281年 弘安の役がおこる。

この年を覚えましょう。

コン太：これはいかがでしょうか。



「人には言おう弘安の風」

「ひと」は1、「には」は28、「い(言)」は1と読んでいます。

ペン太：ぼくは

「弘安も博多の湾に入る元」

「湾」は1を英語で読む。

「に」は2、「はい(る)」は81と読みます。



コン太：もう一つ

「元の人に矢射る弘安の武士」

「ひと」は1、「に」は2、「や」は8、「い(る)」は1、と読みました。

師 範：いろいろなものが考えられましたね。

それぞれに関係することが読まれていて、なかなかいいですね。

ペン太君のは、五・七・五できれいですね。